

昭和の町のおいしい歩き方!!



まず、メインストリートに入って、すぐにある森川豊国堂！**ミルクセーキ**がとても美味で、なんとこの時期からソフトクリームとして食べられます。次は安田酒店！**昭和の町**という商品名のにごり酒があります。お土産に最適です。

金岡精肉店の「コロッケ」も名物で、週末は、行列ができます！サイズが丁度良いので、散策しながらかぶりつくのもいいですね。杵やでは、「いちご大福」がおすすめです。いちごが大きくて食べ応えがありますが、おいしいので、何個でも食べられます。

外来診療のご案内

午前 受付 AM 8:30～11:00 診療 AM 9:00～12:00

●祝日は休診です 午後 受付 PM 1:00～ 4:00 診療 PM 1:30～ 5:00

診療科	午前・午後		曜日	月	火	水	木	金	土
	午前	午後							
精神科	午前	初診	宇都宮 森 豊 内 岡	西 豊 口 岡	西 森 口 内	西 山 豊 口 下 岡	西 口 森 (第一金以外) 豊 岡	休 診 (一部再診のみ)	
	午前	再診	宇都宮 西 森 豊 内 岡	西 豊 今 口 岡 永	宇都宮 西 森 口 内	西 豊 山 口 岡 下	西 口 豊 岡 森 (第一金以外)		
	午後	再診	森 内	寺尾教授 (月に2回)	西 森 口 内	休 診	休 診	休 診	
心療内科	午前	初診・再診	小 関	休 診	小 関	休 診	小 関	休 診	
	午後	再診							

※毎月2回火曜日(午後)に大分大学医学部の寺尾教授による診察があります。(週末定)
詳細につきましては、受付窓口又は、外来担当者・相談員にお尋ね下さい。

編集後記

春号発行にあたって

桜は散り、より心地よい季節になりました。
その反面、花粉やPM2.5のシーズンが到来しています。
様々な情報に耳を傾けて「うがい・手洗い・マスク」などで
予防に心掛けましょう。



精神科・心療内科・内科

医療法人起愛会 宇佐病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐 1655

TEL 0978-37-0485(代)
FAX 0978-37-0256

宇佐病院へのアクセス

- バスをご利用の方は「神宮前バス停」下車が便利です。
- 宇佐駅より神宮前バス停まで約10分、神宮前バス停より徒歩約5分



医療法人起愛会 宇佐病院広報誌

ひなまつり

春号

2014.4

編集・発行：宇佐病院広報委員会 医療法人起愛会 宇佐病院広報誌 2014年4月22日発行26号

病院理念

宇佐病院は自然を愛し、人を愛し、地域に根ざし、精神保健・医療・福祉に貢献します。

基本方針

緑と大気に包まれた心にゆとりのある精神科病院。
明るく、温かい、愛の心を持つ医療の提供に努めます。
全人的医療、包括医療、地域医療を目指します。
患者様の権利擁護に努め、社会復帰への継続的な支援の提供を目指します。



OT作品
2014年 春



タイトル…お城
コメント…ダンボール紙で作りましたが、思ったよりも良い出来で満足しています！
石垣や瓦を描くのが難しくて大変でした。お堀の水は上手く出来たと思います

イベント報告

当院が開催しているイベントの報告を行います。
今回は 節分・官兵衛一座公演をご紹介します。

専門分野

節分



今年もレクレーションにて節分の豆まきを各病棟で、
ワイワイ楽しみながら行いました。
毎年、年男の患者様に羽織袴を着てもらい、豪快にまい
てもらうのですが、今年は、残念ながらスタッフが代行して、
皆様に節分の雰囲気を味わっていただきました。

官兵衛一座公演



本年度のひな祭りは、NHKの劇団(8名)の人々が来院し黒田官兵衛
について解りやすく劇をしながら、官兵衛にまつわるクイズや、よさこ
い風にアレンジした黒田節を歌いそれに合わせて踊りを披露してくれ
ました。参加した約90名の患者様やスタッフも大変喜んで、官兵衛に
いました。参加した約90名の患者様やスタッフも大変喜んで、官兵衛に
いました。参加した約90名の患者様やスタッフも大変喜んで、官兵衛に
いました。NHKの劇団の皆様本当に有り難うございました。

毎回違う当院の専門分野にスポットライトをあててご紹介しております。
今回の専門分野は、院内研修会についてです。

地域移行定着についての院内研修会に参加して

今回、宇佐市の相談支援事業所（ルポーズ、すまいる、きずな）のスタッフをお招きし、地域移行支援の現状を知ることが出来ました。

今回、一人目の方は長期入院患者さんがある言葉をきっかけに、施設入所について強く興味を示し、そこから病院PSWと相談支援事業所が協力しながら、施設見学、体験入所を行い現実的になるにつれて徐々に表情も意識も変わっていました。又、患者さん同士の会話の中にも施設生活の話や作業の話でコミュニケーションの幅も広がり、会話も多くなってきました。体験入所が近づくと持っていく衣類の相談や身だしなみに対する意識にも変化が見られるようになってきました。病棟では服薬の自己管理が出来る様に指導を行ってきました。グループホームへの入居に不安と期待をふくらませ病院を退院し入居する事ができました。今回、その患者さんの地域での生活の様子を知る事が出来ました。

最初はひとりでの生活に寂しさもあり複雑な思いもあったようですが、今では個室での生活にも慣れ部屋も女の子らしく可愛らしくしており、一人で外出し買い物も行えていました。何事も自分で判断し行動する大変さをかみしめながらも笑顔で活き活きとした様子が伺え知る事ができ、とても安心したのと同時に嬉しく思えました。

二人目の方は入院中、歩行状態も不安定で排泄行動が自立出来ていない患者さんではありましたが、お母さんと一緒に生活したいという強い思いで、周囲の協力もあり退院となりました。退院後は昼夜の生活支援を受けながら、高齢であるお母さんに思いを寄せ二人で頑張って生活できている様子を知ることが出来、とても感動しました。この症例を通して、どのような患者さんでも昼夜の地域生活支援を受けながらの生活が可能ではないかもしれないという考えを持つことができました。今後、患者さんが少しでも自分らしく活き活きと生活できる様に患者さんの思いに向き合い、私たち看護師の出来る最大の日常生活のレベルアップを目指して退院の支援を行っていきたいと思います。

5病棟看護師長 乙咩なるみ

認知症とそのケアについて（院内研修会）

今回、豊岡先生による講義において認知症に対するケアや、認知症高齢者の方を理解する良い機会となりました。講義の中で、認知症の方に多く見られる転倒・暴力行為・拒薬・徘徊などの行為に対して、対症療法的対応に限らず、認知症を理解することで、なぜ、そのような症状が出やすくなるか、そして、どう対応することで、症状を軽減できるのかなど、環境面や対応の仕方などを具体的に話していただき、これから認知症の方と接する時の参考になりました。認知症の症状がある方と話をすると時一番印象に残った言葉は「心理・行動症状は認知症高齢者の第2の言語」という言葉です。認知症のある患者様がどうしたいのか?何を伝えたいのかを理解する場合、患者様の症状・行動・家族歴・生活歴等を考えながら接する事が大切なのだと思います。そのなかで相手の方を理解する為には、じっくり相手の方と向き合って会話をしていくのが最善の方法だと感じました。

精神保健福祉士 衛藤真治